

ID番号
病名（他に考える病名）
担当医師

@PATIENTID
@USERNAME
印

氏名
@PATIENTNAME
様

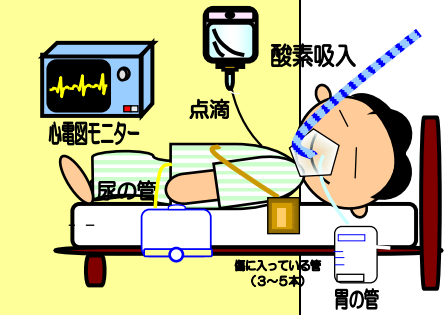
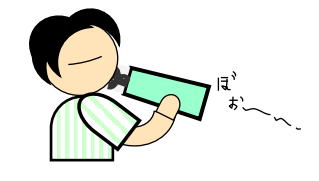
症状

入院診療計画書(腓体尾部切除術を受ける患者様へ)

@PATIENTWARD
病棟

@PATIENTROOM
号室

@SYSDATE

月日	入院日	術前日	手術日		術翌日～術後2日目	術後3日～4日目	術後4～6日目	術後9日～	退院日
	(/ /)	(/ /)	術前	術後					
経過	 入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。	()時に手術室へ移動します	術後はICUに入室します	医師の指示で、水分開始になります	医師の指示で、食事開始になります	少しずつ、日常生活のリズムを戻していきましょう		退院
目標	手術への準備ができています。安心して手術に臨むことができます。	術前日の流れ ()時～絶食 ()時～絶飲食	朝起きてから手術に行くまでの流れ	術後合併症が発症しない。痛みのコントロールができる。	むせりや吐き気がなく、水分を摂取することができます。	食事を摂取することができます	リハビリがすすむ	日常生活が1人でできるようになる	退院後の注意点が理解できる
検査	手術に必要な検査をします	☐ おへその周りの毛があれば処理します ☐ おへそのそうじをします ☐ 入浴	☐ 麻酔科医師の指示の内服薬があれば服用してください ☐ 排便がなければ浣腸をします ☐ 前あきの下着、病院のパジャマに着がえて下さい	術後はICUへ入室します 痛いときは我慢せずに教えてください	レントゲン（胸・腹）→病室でとります 朝、採血があります	必要に応じて 採血・レントゲン写真		採血・レントゲン写真 必要に応じて透視の検査	
処置	基本的に処置はありません  禁煙です!!	☐ 腕に名前を書きます（医師） ☐ 準備品の確認をします ☐ 21時 下剤を内服します（21時以降水分はひかえて下さい） ご不安なときは、ポータブルトイレを用意します	☐ 弾性ストッキングをはいて下さい ☐ 化粧やマニキュアを落として下さい ☐ 歯磨き、めがね、時計、ヘアピン、指輪などを外して下さい ☐ 髪の毛の長い方はゴムで2つに結んで下さい	 ※術中に、首から点滴が入ります	ICUから一般病棟へ移ります	痛み止めの管が抜けます 酸素はマスクが外れ鼻からの吸入に変わります 心電図モニターが外れます 胃の管が抜けます 尿の管が抜けます	食事摂取量に応じて、点滴を減らします。術後およそ10日目で点滴は終了の予定です。	傷の部分のドレーンが抜けます	以下の症状があるときは、受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時 ・便やおならがなく、お腹の張りが続いている時 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・黒い便が出た時 ・高熱が出たり微熱が何日も続いたりする時 わからない点、不安な点がありましたら、医師や看護師にご相談ください。
注射	基本的に注射はありません				水かお茶かスポーツドリンクのみにしてください。野菜ジュースや牛乳は、食事が始まるまで控えてください。	薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。下剤の内服については、便の回数や状態を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談してください。			
内服	飲んでいるお薬はすべて看護師にお知らせください	普段飲んでいる薬は、術前日もいつもとおり飲んで下さい。中止薬があれば、説明します。							口次回受診まで、必要な分のお薬が処方されます
食事	入院日の食事制限はありません 食事に關するアレルギーなどは、相談して下さい（希望により、食事変更ができます） 例）ご飯→お粥 牛乳→3G乳	術後許可が出るまで、飲んだり食べたりできません			水分が開始になったら、出来るだけ座って飲むようにしましょう。むせたりしないように、注意して飲んで下さい。	このような症状がありましたら看護師にお知らせ下さい 低血糖時の症状 → めまい、冷や汗、手足のしびれ、動悸 高血糖時の症状 → 異常に口が渇く		脂っこい食事は、下痢になりやすいです。食べ過ぎず、バランスよく摂取して下さい。	
清潔行動	活動、入浴に制限はありません				シャワーの許可が出るまで体を拭きます	必要に応じて、ポータブルトイレや尿器を用意します	ドレーンが抜けなくてもシャワーの許可がでる場合があります 傷の部分は、こすらず、シャワーで流す程度にしてください	入浴のときは… 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。	
リハビリ	 スーフル呼吸訓練行って下さい	麻酔から覚めたら深呼吸をして下さい 血栓予防に足の底背屈運動を行って下さい。			術翌日 日中はできるだけ起きてみましょう	術後2日目 できれば足を垂らして座ってみましょう 立ちましょう 足踏みしましょう	術後3日目～ どんどん歩きましょう 病棟歩行を毎日行いましょう	スーフル呼吸訓練も行ってみましょう	職場復帰、旅行などは医師に相談して下さい
説明	病棟での日常生活をご案内します 手術の予定を説明します	☐ 麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります ☐ 手術後に免疫力が下がるので、肺炎球菌ワクチンの接種の説明が入院中にあります	ご家族の方へ病棟フロアのロビーでお待ちください 離れる場合は、待機場所をお知らせください		点滴や尿管、ドレーンが抜けていなくても、座るときは看護師を呼んで下さい。	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。	口栄養指導を行います	口次回予約票を渡します 口リハビリを外します	

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2）入院期間については現時点で予想されるものです。注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性

有・無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名： 続柄：

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号（No.177）

パス承認日（平成25年11月11日）